

8-3-1 企画委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

委員会開催回数：11回（8月を除く毎月）

(2) 委員会の構成

中期行動計画における、当委員会の役割は、建設コンサルタントの役割の提案、社会資本整備のあり方の提言、契約約款案の作成と提案（再委託のあり方を含む）、社会ニーズの掘り起しと技術開発、自律した経営の実践方策、建設コンサルタントの法制化（適正な登録制度の確立等）である。この目的に沿って、「登録制度専門委員会」、「契約のあり方専門委員会」、「美しい国づくり専門委員会」、「社会資本整備のあり方検討WG」の4つの専門委員会・WGが活動している。各専門委員会・WGの詳細な活動内容については専門委員会・WGの年報を参照されたい。

(3) 委員会の活動

a) 企画委員会

各専門委員会・WGの提案について審議・検討し、企画部会に上申した。また、建設コンサルタント協会組織のあり方及び倫理綱領の改定に関する各方針を検討するとともに、常任委員会委員および特別委員会・常設委員会の各委員長へ意見照会を行った。

b) 登録制度専門委員会

登録の要件・制度の活用等に関して検討を継続実施した。今年度は建設コンサルタント登録制度の紹介パンフレットを作成し、地方ブロック意見交換会で配付した。また、同制度の活用が遅れている全国市町村を対象に支部の協力によりパンフレットの配付、制度の周知を図った。

c) 契約のあり方専門委員会

建設コンサルタント契約における損害賠償責任の問題点を明らかにするために賠償責任に関する実態調査アンケートを実施した。また、大森弁護士を講師に迎え講演会（本部、関東、

北陸、中国、九州）を開催した。

d) 美しい国づくり専門委員会

JCCA及びJIAの両会長の対談を平成30年2月15日に開催した。また、平成29年9月28日にJCCA/JIA協働シンポジウム（多様性と融合）を徳島市で開催した。

b) 社会資本整備のあり方検討WG

小中学生を対象としたレポートコンテストを実施した。また、建設コンサルタントの役割の提案として道路の包括的管理業務に焦点を絞り現状の課題、建コンの必要性と役割等の整理を進めている。なお、レポコンおよび学習サイト「もしもランド」は事業の有効性が低いと判断し今年度で廃止することを常任理事会へ提案し了承された。

2. 他委員会との連携状況、関連作業

企画委員長は未来塾メンバーとして国交省技術調査課との会議へ出席するとともに、協議テーマの検討方針を議論した。

また、平成29年度の「要望と提案」、「白書」及び「中期行動計画」に関する企画委員会担当箇所資料作成、原稿執筆を行った。

3. 次年度の活動について

協会内の関連委員会と連携を強化し、今年度の活動を継続的に実施する。

（企画委員会委員長 中嶋 規行）